

仙台六大学野球春季リーグ(仙台六大学野球連盟、東北放送、河北新報社主催)は12日、仙台市の東北福祉大球場で開幕する。5月25日までの7節にわたり、2回戦総当たりの

勝ち点制で争う。優勝校は全日本大学野球選手権(6月10~15日・神宮球場ほか)への出場権を得る。今季の各チームの戦力を紹介する。

春 頂点狙え

仙台六大学野球 12日開幕

(注)メンバー表の部長、監督の後は最終学歴。選手の後には学年、身長、体重、投打の右左の順。かつこ内は出身高。◎は主将

投手中心に守り重視



奈良崎主将の話 自分プレースタイルを持った選手が多い。全国大会で勝てるチームを目指す。

昨秋は勝負どころで守りが合わず、9季連続の3位に終わった。投手を中心とした守りを重視し、1980年秋以来の優勝を目指す。投手は昨秋3勝した左腕野口が軸。130キロ後半の切れのある直球にスライダー、カーブを投げ分け、打たせて取る。仙台育英高で昨春、夏の甲子園を経験した右腕馬場は140キロの直球が魅力。他にも各学年に柱

仙台大

打線は、昨秋に4割7分7厘の首位打者に輝き、最多打点(17打点)と最多本塁打(3本)の3冠に輝いた2年松本が主軸に座る。松本の前に走者をつまみ、得点力を上げた。森本監督は「レギュラーが昨秋から大幅に入れ替わった分、ポジション争いが激しい。打順は選手の状態を見て決めた」と話す。

部長	高橋 義夫 (早大)				
監督	森本 吉謙 (筑波大)				
投手	野口 亮太④	163	60	左左	(群馬・前橋商)
	原 光輝④	166	65	右右	(栃木・作新学院)
	影浦 雅人③	178	80	左左	(北海道・旭川実)
	熊原 健人③	175	70	右右	(宮城・柴田)
	荒木 雄哉②	175	76	左左	(長崎・清峰)
	馬場 卓輔①	180	80	右右	(仙台育英)
捕手	根深 周平④	178	78	右左	(青森・東興義塾)
	坂東 太陸④	183	75	右右	(北海道・恵庭南)
	千葉 俊②	177	74	右右	(岩手・盛岡大付)
内野	志田 一茂④	172	68	右左	(岩手・大船渡)
	庄司 祐樹④	168	65	右左	(宮城・東陵)
	◎奈良崎 匡伸④	172	70	右両	(山形中央)
	渡辺 優佑④	180	73	右右	(東京・帝京)
	薄井 新③	180	75	右右	(栃木・矢板中央)
	浅野 壮也②	170	64	右右	(栃木・作新学院)
	大坂 智哉②	175	73	左左	(青森山田)
	高野 裕基②	180	85	右右	(栃木・宇都宮工)
	松本 桃太郎②	175	67	右右	(北海道・北海)
外野	五十嵐 歩④	171	74	右左	(福島・帝京安積)
	加藤 大地④	171	68	左左	(千葉・東海大望洋)
	高橋 孝輔④	171	69	右右	(秋田・金足農)
	内藤 諒太③	166	67	右左	(栃木・作新学院)
	郷古 裕樹②	184	77	右右	(仙台育英)
	鶴田 剛也②	170	70	右左	(栃木・作新学院)
	東海林 隼②	174	75	右左	(群馬・前橋商)

選手の身体能力向上



鈴木主将の話 走攻守の底上げを図るかがポイント。走攻守の底上げを図り、好機を確実にものにしたい。

昨秋は東北工大、宮城大と並び4位。学院大から1勝を挙げた。今季はAクラス入りを目標に地道に練習に取り組んできた。今季から指揮を執るのはOBの磯村監督。「例年以上に冬場に体力強化を図ってきた。粘り強さを図るのが狙いで、接戦に強いチームにしたかった」と意気込む。選手の身体能力が向上したことを実感している。

東北大

投手陣は、継投でしのご。柱は右下手の時光で、緩急を付けて的を絞らせない投球が光る。丁寧な投球が持ち味の右上手の宮嶋も頼もしい存在だ。打線は、長距離砲はいないが、三富、渡辺らを軸に、好機に積み掛ける勝負強さを発揮したい。守備は内野陣のレギュラー争いが激しくなった。ミスで負ける試合をしないように、基本動作を徹底してきた。

部長	長谷川 史彦 (東北大大学院)				
監督	磯村 明宏 (東北大大学院)				
投手	高橋 直也④	172	72	右右	(岩手・盛岡一)
	時光 晋平④	170	62	右右	(北海道・帯広柏葉)
	塚本 匡頭④	179	71	右右	(鹿児島・鶴丸)
	横内 翔太③	167	59	右右	(青森)
	倉根 翔③	165	58	左左	(東京・城北)
捕手	宮嶋 一帆②	184	77	右右	(滋賀・膳所)
	宮沢 拳④	165	67	右左	(仙台一)
	三富 崇永④	170	70	右左	(新潟南)
内野	斎藤 一樹④	171	95	右右	(岩手・盛岡一)
	吉田 光秀③	175	85	右右	(福島・安積)
	昌山 泰輔④	176	70	右右	(仙台三)
	加賀谷 完成④	172	70	右右	(秋田)
	保角 剛④	185	92	右右	(宮城・泉館山)
	山本 順登④	172	65	右右	(埼玉・県立浦和)
	志賀 康平④	176	85	右右	(愛知・時習館)
	◎鈴木 元④	165	59	右右	(山形・長井)
	田巻 裕矢④	169	63	右左	(新潟・長岡大手)
	柳沢 尚平③	176	69	右両	(埼玉・栄東)
	沢木 秀悟③	173	67	右左	(秋田)
外野	石垣 信幸③	174	68	右右	(仙台南)
	後藤 凌④	177	67	右右	(秋田)
	渡辺 崇健④	178	73	右右	(新潟)
	小寺 輝④	180	79	右左	(宮城・下妻一)
	熊谷 諒③	170	65	右左	(宮城・泉館山)
	村岡 敬太③	175	65	右右	(山形・新庄北)

内野の連係がアップ



遠藤主将の話 プレッシュャーや緊張に負けず、練習通りのプレーをする。力を出し切り、Aクラス入りを果たす。

守り勝つ野球で、昨秋までの16季連続4位からの脱出を目指す。投手は片貝、菊地の2本柱。右スリークォーターの片貝は、手元で伸びる直球とスライダーの緩急で打ち取るのが特長。左上手の菊地は、スライダーやシンカーの制球を磨いてきた。投手の良さを引き出すリードが持ち味の佐藤幸と、強肩の桐生が正捕手を争う。守備は、昨秋ベストナインに

東北工大

選ばれた三塁の佐藤裕を中心に内野の連係向上に取り組んできた。打線は直球に強く、パワーがある伊藤、ミートに優れる植田ら中軸が引張る。全体に爆発力は無いが、進塁打や犠打でつくれた好機で確実に得点に結び付けた。小幡監督は「四球や失策の数を減らせば、上位チームとの差はほとんどない」と自信を見せている。

部長	良覚 (東北工大)				
監督	早苗 (東北工大)				
投手	目黒 信吾④	180	85	右右	(秋田南)
	遠野 智也③	171	60	右左	(岩手・一関学院)
	片貝 智晴③	178	65	右左	(宮城・東北)
	高橋 浩人③	176	80	右左	(宮城・東北)
	菊地 和成②	180	71	左左	(宮城・東北)
捕手	若生 颯太②	180	71	右右	(宮城・東北)
	駒板 純貴④	187	87	右右	(岩手・専大北上)
	桐生 大地③	177	75	右右	(宮城・東北)
内野	◎遠藤 幸紀③	170	66	右右	(宮城・広瀬)
	伊藤 太祐④	178	72	右左	(宮城・古川学園)
	佐藤 寛伸④	175	75	左左	(宮城・古川学園)
	佐藤 裕二④	168	72	右左	(宮城・利府)
	佐竹 涼汰④	170	75	右左	(宮城・名取北)
	黒川 慎朔③	175	71	右右	(宮城・石巻工)
	鈴木 稔也③	180	75	右左	(仙台育英)
	佐々木 翔③	171	70	右左	(宮城・古川学園)
	小野寺 隼人③	169	67	右右	(宮城・東北)
	遠藤 堯紘③	171	60	右左	(仙台南)
外野	鈴木 勇汰②	175	75	右右	(宮城・柴田)
	沼田 敏志④	170	71	左左	(宮城農)
	植田 政宏③	182	71	右右	(宮城・東北)
	間枝 勇樹③	172	67	右右	(宮城・聖和学園)
	崎山 裕示②	172	63	右左	(宮城・利府)
	志賀 建太朗②	171	67	左左	(山梨学院大付)
	村上 大之②	172	70	右右	(岩手・一関学院)